(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025 年 6月 27日

神戸市長 宛

提出者

住所 東京都千代田区内神田2丁目2番1号

氏名 昭和産業株式会社 代表取締役社長執行役員 塚越 英行

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3257-2011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	0)	名	称	昭和産業株式会社 神戸工場
事	業	場の	の所	在	地	兵庫県神戸市東灘区御影浜町5番地
計		画	期		間	2025年4月1日から2026年3月31日
当該	を事業	場に	おいて	現に	行	っている事業に関する事項
	①事	業の種	重類			0962:小麦粉製造業 0981:植物油脂製造業
	②事	業の規	規模			資本金14, 293百万円
	③従	業員数	数			156名(2024年4月末時点)
		業廃事理のこ	乗物の L程	一連		当該事業場において生じる産業廃棄物は管理、保管のみを行っている。 再生、中間処理、最終処理は行っておらず、行う計画はない。

産業	美廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事項	, pass /	
	(管理体制図)			
	排出までは別紙の通	ijθ _o		
産業	芝廃棄物の排出の抑制	に関する事項		
		【前年度(令和 6年度		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		排出量	3640.8 t	t
	①現状	(これまでに実施した取)	組)	•
		当社廃棄物は汚泥・廃油		
		例して排出されるため、 各現場へ分別徹底の意識		
		る。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		排出量	3513 t	t
	②計画	(今後実施する予定の取		
		製造工程由来の汚泥・廃法を考える。	油は、有価売却先を探り	したり、再生利用する方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		動植物性残渣は、製造不	良品・掃き寄せダスト類	質を減らし、
		排出量の削減を行う。 		
産業	L 芝廃棄物の分別に関す	 -る事項		
		(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に関	する取組)
		混合廃棄物として、廃プ		
	①現状	ゴム、コンクリート類をは、できる限りリサイク		
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
		 (今後分別する予定の産業	芝露棄物の種粗及び公別	に関する形細)
		できる限り金属くずは、		
		,,,,,,	, ,	
	②計画			

自ら行う産業廃棄物の)再生利用に関する事項		
	【前年度(令和 6年度	E) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
①現状	(これまでに実施した取自ら行う産業廃棄物の再はない。	組) 生利用は行っていないので、取	り組み
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
②計画	(今後実施する予定の取 自ら行う産業廃棄物の再		
自ら行う産業廃棄物の	つ中間処理に関する事項		
	【前年度(令和 6年度	三) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取 自ら行う産業廃棄物の中 はない。	組) 間処理は行っていないので、取	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
D HI FE	(今後実施する予定の取	組)	

	自ら行う産業廃棄物の中間処理を行う予定はない。

自ら行う産業廃棄	物の埋立処分又は海洋投入処分と		
	【前年度(令和 6年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
①現状	(これまでに実施した取名) 自ら埋立処分又は海洋投資	組) 棄は行っていないので取り組み <i>に</i>	はない。
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
②計画	(今後実施する予定の取款 自ら埋立処分又は海洋投業		
産業廃棄物の処理	の委託に関する事項		
	【前年度(令和 6年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	3640. 8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	728. 8 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3401.5 t	t
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	59. 1 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取) 汚泥・廃油に関して、有(

(第5面)

	(第5	面)		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとお	ŋ	
	全処理委託量	3513	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	593	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3470	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	60	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取為 汚泥・廃油・動植物性残		有価売却を対	進めていく。
1				

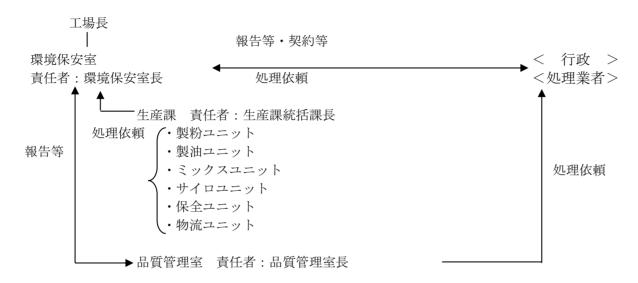
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

・産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 環境保安室を2019年4月1日設置、環境関連業務を管理課より移管



※分担

環境保安室→構内の廃棄物の最終管理、行政への報告等

- →処理業者の選定、廃棄物処理(収集・運搬)契約手続き、引渡し、適正処理の確認
- →工場内の他部署への関係法令等の啓発、指導監督
- →マニフェストの発行、管理、保管(他部署の物含む)

生產課 · 品質管理室

- →各部署で発生する廃棄物量削減、分別、保管場所への運搬
- →マニフェストの発行

・産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(2024年度)実績

産業廃棄物	物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず		2200 混合廃棄物 (廃7 ラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)		
排出	量	1092.5 t	1722.4 t	0.0 t	23.8 t	25.0 t	38.8 t	476.8 t	261.5 t	0.0 t	3640.8 t

○計画 目標(2025年度)

j	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃ア ラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 乗物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃プラス チック類)	
	排出量	1050.0 t	1660.0 t	0.0 t	24.0 t	24.0 t	39.0 t	457.0 t	259.0 t	0.0 t	3513.0 t

・自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(2024年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃ア ラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 乗物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃プラス チック類)	
自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

○計画 目標 (2025年度)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃プラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 棄物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃プラス チック類)	
自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

- ・自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項
- ○現状 前年度(2024年度)実績

彦	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣			
	自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自	ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

○計画 目標(2025年度)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃7 ラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 棄物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃プラス チック類)	
自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

- ・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項
- ○現状 前年度(2024年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃7 ラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 棄物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃ブラス チック類)	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

○計画 目標(2025年度)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず		2200 混合廃棄物 (廃プラ類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

・産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(2024年度)実績

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃产 7類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)	2500 水銀使用製品産業廃 棄物 (ガラスくず・金属く ず・汚泥・廃プラス チック類)	
全処理委託量	1092.5 t	1722.4 t	0.0 t	23.8 t	25.0 t	38.8 t	476.8 t	261.5 t	0.0 t	3640.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	350.7 t	18.1 t	0.0 t	0.0 t	8.8 t	0.0 t	312.5 t	38.8 t	0.0 t	728.9 t
再生利用業者への処理委託量	1092.5 t	1722.4 t	0.0 t	23.8 t	18.8 t	38.8 t	243.7 t	261.5 t	0.0 t	3401.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	59.1 t	0.0 t	0.0 t	59.1 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

<u>○</u>計画 目標 (2025年度)

産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0800 木くず	1000 動植物性 残渣	2200 混合廃棄物 (廃产 7類・ 金属くず・ 木くず・ゴム・コン クリート・汚泥・廃 油)		合計
全処理委託量	1050.0 t	1660.0 t	0.0 t	24.0 t	24.0 t	39.0 t	457.0 t	259.0 t	0.0 t	3513.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	336.0 t	17.0 t	0.0 t	0.0 t	9.0 t	0.0 t	192.0 t	39.0 t	0.0 t	593.0 t
再生利用業者への処理委託量	1050.0 t	1660.0 t	0.0 t	24.0 t	24.0 t	39.0 t	414.0 t	259.0 t	0.0 t	3470.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	60.0 t	0.0 t	0.0 t	60.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t